

秋まき野菜の栽培のポイント

秋まき野菜の栽培適期になりました。栽培上の注意と、作り方のポイントをお知らせします。

まず、野菜作りで一番大切なことは土づくりで、酸性の土では野菜の生育は思うようにはいきませぬ。荒起こしするとき、一平方メートル

たり苦土石灰一〇〇g程度を施します。

元肥は苦土石灰を施し、四五日してから、化成肥料(N・P・K 11・8・8)を一平方メートル当たり一五〇gと、たい肥二〇gを畦(あぜ)全体に混ぜるように耕します。排水のよくないところは高畦にします。

床中は八〇×一〇〇gあればよいでしょう。

プロッコリーやカンラン、子持ちカンランなどは、育苗箱やトロ箱に種まきをし、本葉二枚ごろに飯粒、本葉五〜六枚の苗を作って植えるとよいでしょう。

プロッコリーの八月下旬〜九月中旬まきは、中生のグリーンビュティという品種を選びます。プ

ロッコリーの固きな花蕾を取極するには、花芽ができるまでに地上部を大きく育てておくことが大切です。

種まきが遅れたり、肥料不足で生育が遅れるのはよくありません。よい苗を植え、かん水や追肥に注意します。

ホウレンソウは連作地を避けて、酸度の調整をして作ります。種は一昼夜水に漬けて、半日くらい陰干しにしてまくと発芽がそろいます。

種まき後薄く覆土、かん水後敷ワラをして乾燥を防ぎます。早めに間引きと除草をし、本葉一枚ごろ、化成肥料一平方メートル五〇gを施し、後は肥切れさせないよう四〇〇倍くらいの液肥を干

福祉の風土づくり

『南国市福祉展』

22日、23日、24日
9月23日、24日

市民の連帯とボランティア意識を深め、福祉のまちづくり推進を……と、今年も市・市福祉のまちづくり推進協議会主催の「南国市福祉展」が、次の日程で開かれます。

多くの市民の参加、ご協力をお願いします。

- 日時：9月22日(月)午前10時〜午後4時、23日(火)午前10時〜午後3時
- 場所：社会福祉センター
- 内容
 - ①写真、書画、家具、木工、竹細工、衣料品、手芸品などの展示
 - ②補装具の展示と修理



③記念講演：22日(月)午後1時30分から。
「最近の国際情勢について」
講師・英保伶一郎氏(高知新聞論説委員長)

④映画：22日(月)午前10時から。
題名「花街の母」

⑤チャリティーバザー：22日(月)午後0時30分から、23日(火)午前10時から。

文化財講座日程表

月日	講座内容	講師
9/26(水)	平安時代の土佐国分寺について	高知女子大教授 岡本健児氏
9/27(木)	中世城館跡調査から	県文化振興課 宅間一之氏
9/28(金)	南国市の民話と伝説	市文化財審議委員と参加者
12月(未定)	土佐国衛跡発掘地を訪ねて	宅間一之氏
9/30(日)	美術刀剣のみかた	市文化財審議委員 棚野薫氏
9/30(日)	南国市の古道	未定
9/30(日)	郷土の画人	高知市文化財保護審議委員 甲藤勇氏

会場……市役所4階、大会議室
時間……1時30分〜3時30分

私たちの住む南国市は、土佐で最も早く開けたところで、古代から中世に至る約一千年の政治の中心地でもありました。

そのため、南国市には数多くの文化財や遺跡があります。私たちは、これらの文化財から、先人の心を知り、声を聞き、精神生活のよき糧としたいものです。

そこで、教育委員会では左表のとおり文化財講座を開催しますので、多くの市民の参加をお願いします。

〔教育委員会〕

文化財講座のご案内

日に一回、かん水がわりに施してもよいでしょう。

ナバナも消費が増えています。トウ立ちを食べるもので、直まきや苗を植付けて栽培します。直まきでは早めに間引きが必要です。苗を植え付けるものは活着すれば、追肥として化成肥料を一平方メートル五〇〜六〇gを株間に施し、

以後も肥料切れさせないようにします。植え付けて五十〜六十日目に、生長点を摘みとって腋芽の発生を促します。

このほかハクサイ、ニラ、中国野菜類など、秋は葉菜類の栽培適期です。新鮮な野菜をわが家の食卓にのせてみてはいかがでしょうか。

〔南国農業改良普及所〕